

平成 28 年度  
地域の“まちづくりびと”養成講座  
(入門編)

## 第2回

『こんなまちづくりがいいな』

# まちのスキの育て方

創造的都市まちづくりを考えよう

日時：平成 28 年 7 月 10 日 (日)

時間：13 時 30 分～17 時 00 分

場所：名古屋市市民活動推進センター



中区栄にある名古屋市市民活動推進センターにて、「平成 28 年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)」の第2回講座を開催しました。

この講座は、講師の名畑恵さん、名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、中区役所、都市センターを実行委員として講座の企画・運営を行っています。



第2回講座のタイムテーブル

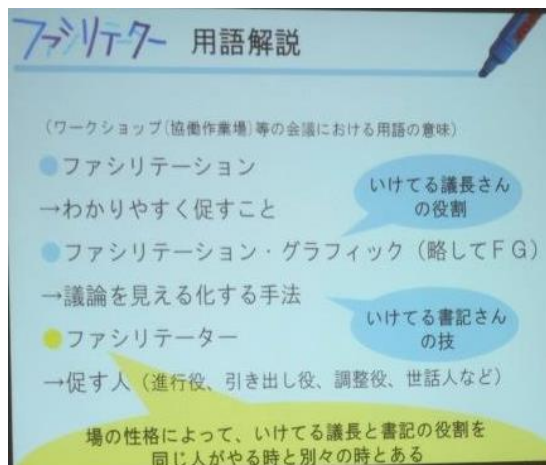
## ふりかえりと今回のねらい

第1回講座で受講生が記入した所信表明では、上手にまちづくりを進めるための技術を学びたいといった意識が多くあったことなどをふりかえり、それを踏まえて「まちづくりを上手く進めるためのセンスとスキルを身に着けるには？」とのねらいが示され、講座が始まりました。

## ミニ座学「ファシリテーションとは？」

まちづくりを進めるためには、会議の主題を分かりやすく伝え、皆が内容を理解しながら議論を進められるようにすることが大切です。

そのため、議論の場で発言や参加を促し、合意形成を行うための進行を行う「ファシリテーション」や議論を促す役割の「ファシリテーター」、議論を“見える化”し、意見を共有する「ファシリテーショングラフィック」という技法について、まちづくり現場での活用事例を交えながら、その必要性が話されました。



ファシリテーターの用語解説

また、自由に意見を出す雰囲気が重要なため、「アイスブレイク」による水平的な関係づくりが大切であることを話されました。

## ■ ワークショップ①「良い会議・嫌な会議」

実践しながら互いの共有認識「共有知」を生む経験をしてもらうため、会議における「良い」「悪い」部分をそれぞれ出し合い、話し合っまとめるワークショップを行いました。付箋に書き出された受講生の意見をもとにグループ毎に話し合い、「未来・目的・意見」「時間・テーマ・場」などに分類し、整理されました。



付箋に意見を書き出す



ワークショップで作成した模造紙

また、共有知を分かりやすくする工夫として、会議における進行役や記録役などの理想のファシリテーターについて分かりやすい言葉で考案しました。

「なごやか先達さん」「水先案内人」「カンコウ上手なマワシモノ」「風使い」「あついハート、クールな知識—修造&彰—」などのキーワードが導き出され、同じテーマにおける話合いでも、結果は五者五様となりました。

## ■ 仲間集めゲーム

まちづくりに関して、事前にいくつかのキーワードを記入した「私の関心プラカード」を見せ合いながら部屋の中を歩き回り、自分と似た関心を持つ人たちとグループをつくる「仲間あつめゲーム」が行われました。

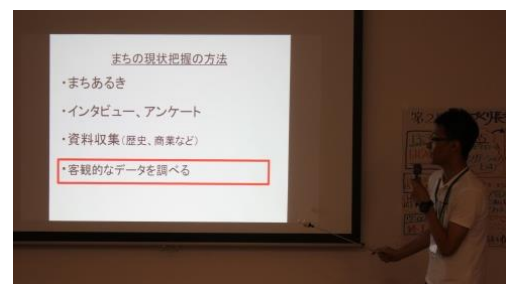
多様な関心を持った受講生が集まるなか、最終的には「アート」「集いの場」「活用」「リノベーション」「人を育てる」といったキーワードで5グループに分かれました。



自分と似た関心を持つ人を探す受講生

## ■ ミニ座学「地域リサーチの方法やデータに見る錦二丁目」

名古屋市役所のウェブサイトや国勢調査の情報などをもとに、中区の学区別世帯や人口の規模、錦二丁目に情報を絞り住居系・商業系の土地利用の移り変わりや地価の動向など、データによるまちの現状の分析方法についての解説、まちのデータ収集をする際に便利なウェブサイトの紹介がありました。



都市センター職員による解説



## ■ ワークショップ②「まち歩き企画をつくってみよう」

ワークショップ②では、次回の講座で行うまち歩きの企画を、①「まち歩きで特に大事にしたいテーマ」②「歩くエリアと行きたい場所」③「当日の役割と昼食場所」の3つのテーマに分け、グループで考えて模造紙にまとめるワークを行いました。

テーマ①でお互いに出し合った意見を仕分け、まち歩きのテーマを設定し、テーマ②ではテーマ①に沿ってまち歩きを行うルートを検討しました。テーマ③では、当日の役割（タイムキープ係、カメラ係、ルート記録係）や街の人へインタビューを行うかどうかについても考えました。

ワークショップを行うにあたって、1つのテーマを話し合うごとに「進行」「記録」「時間管理」の役割をローテーションで割り振り、より多くの人々がファシリテーションにおける役割を体験できるようにしました。また、ホワイトボードを使用し、受講生が“進行”と“記録”の仕事をより意識して議論を進められるようにしました。



役割を分担しながら議論を行う



地図を確認しながら当日のルートを決定する

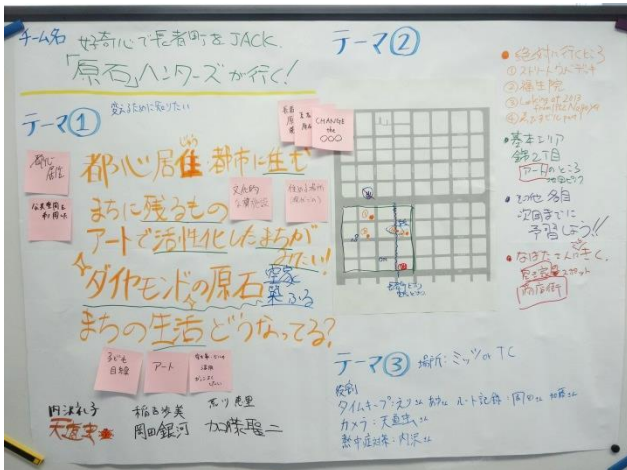
## ■ 発表（全体共有）

ワークショップの成果をグループごとに発表し、まち歩きのテーマや当日のルートなどについて共有しました。

### 好奇心で長者町を JACK 「原石」ハンターズが行く！

【テーマ】

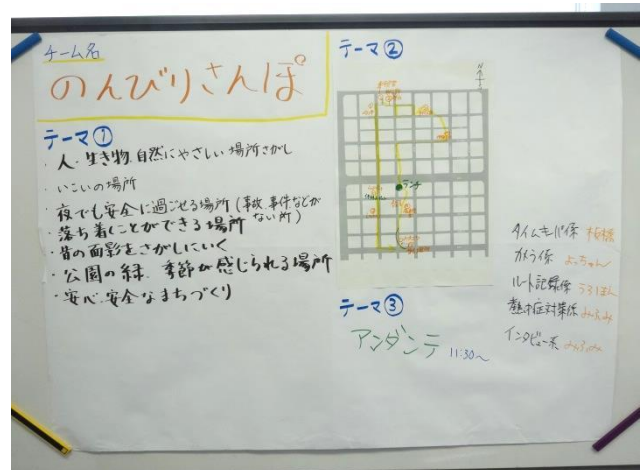
「空き家リノベーション」・「アートまちづくり」・「住む」等をキーワードに、その実現（変える）の為に、現状を知る。



### のんびりさんぽ

【テーマ】

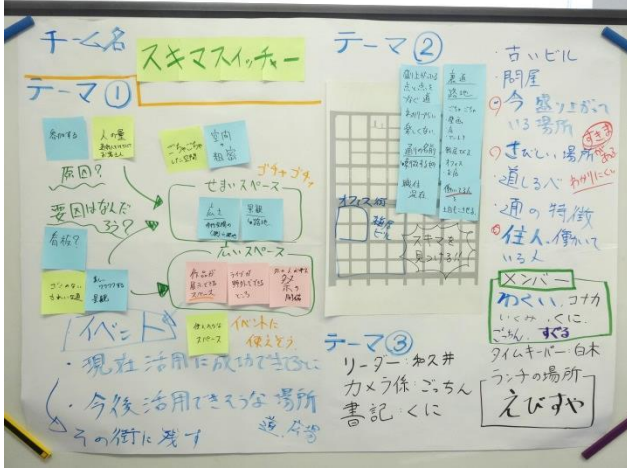
公園など、人、生き物、自然にやさしい場所や、夜でも安全に過ごせる安心・安全なまちづくり。昔の面影をさがしに行く。



## スキマスイッチャー

【テーマ】

週末に人がいない原因、要因を考えながら、イベントなど今後活用できそうな場所、美しいワクワクする景観などを探す。



## Re:MAN'S XShock

【テーマ】

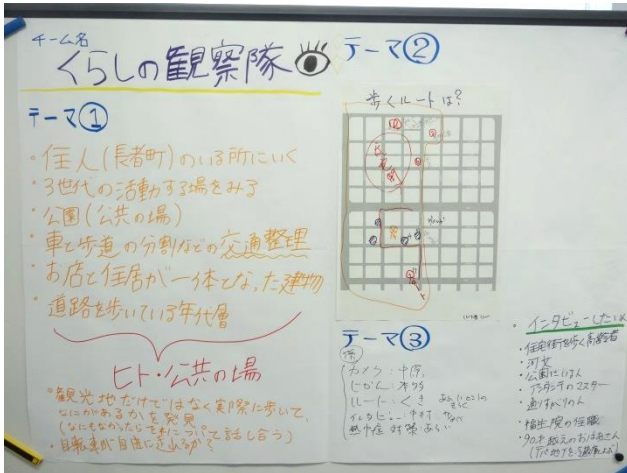
“建物さがしやリノベーションで元気に”を目的として、アートラボあいち、馬具屋（中日病院北）、低利用ビル、古いビル、古民家などをめぐる。



## くらしの観察隊

【テーマ】

3世代の活動する場や公園など、住人（長者町）のいる場所を巡り、観光地だけではなく実際に歩いて何ががあるかを発見する。



発表の様子



## ■ まとめ

講師より、講座のふりかえりとして、良い会議をするファシリテーターとなるためのポイントをキーワード形式で示しました。

### まちづくり長者 10ヶ条

- な 何でもつぶやき自由に話せる雰囲気
- こ ゴールが見えるよう目的を示し筋道立てた進行を
- や 優しい場づくりができる“まわしもの”（資料・お茶・お菓子の準備、会場の雰囲気づくり）
- か 固さを越えて楽しい雰囲気の生け捕りを
- な 何でも分かるような先達に
- か 固さをこわすアイスブレイクが大事
- ぜ 全体の構図化を図ることが大事
- つ つきぬける熱いハートの修造化！
- か かがいしく皆の様子を見れる“水先案内人”
- い いきいきとした当事者意識を持つカンコウ上手

また、キーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用い、「なごやかな風使い」とまとめられました。

最後に、次回講座の案内、アンケートの記入を行い、全員で会場の片づけをして第2回の講座を終了しました。